秋の踊　（道輪口説）テ85

本調子

そらもながつ

工 五 七 八 四七〇五工 尺 工 四 合 〇 四 乙 四 上

はじめごろかやよものもみじ

四 乙 四 〇 四 乙 四 上 四 合 工 五 七 五 工 尺

そめるし

工 合 工 五 七 八 四七〇五工 尺 工 四 合 〇 四 乙

ぐれにぬれておじかの

四 上 四 乙 四 上 尺 上 四 上 尺 工 〇 尺 工 七

くもさびしきおりに

〇 五 〇 工 尺 工 五 工 尺 上 老 四 合 工 五 七

つげくる

五 工 尺 工 合 工 五 七 八 四七〇五工 尺 工 四 合

一、空も長月初め頃かや四方の紅葉を

二、染める時雨に濡れて牡鹿のなくも寂しき折りに告げ来る

三、雁の初音に心うかれて共にうちつれ

四、出づる野原の桔梗苅萱萩の錦を

五、きても見よとや招く尾花が袖の夕風

六、吹くも身に沁み夕日入江の海士のこどもや

竿のしずくに袖をぬらして波路はるかに

沖に漕ぎ出で月は東の山の木の間に今ぞほのめく